

3・4月どりタマネギのトンネル栽培について

西谷国宏・小西薫

タマネギを3~4月に青切り収穫する作型をトンネル栽培で確立するため2,3の実験を行なった。

1. トンネル栽培には藤原交配早どり黄が適しており、この品種は結球が早く、抽台や分球も極く僅かであり、収穫時のくびの太さも最も細かった。貝塚早生は、抽台・分球が多く、球の肥大は遅く、くびの太さは太く、トンネル栽培には不適當であった。
2. トンネルの被覆期は1月よりも12月中旬が適當であった。12月にトンネルをかけることにより、2月から3月にかけての時期の発育を旺盛にすることができ、球の肥大を早めることができた。
3. トンネル内の保温効果はノーサクビよりビニールの方が高かったが、タマネギの生育および収量におよぼす効果はノーサクビにおいて高かった。